

1. 研究課題名：「外来動物の根絶を目指した総合的防除手法の開発」

2. 研究代表者氏名及び所属：
五箇 公一（国立環境研究所）



3. 研究実施期間：平成 23～25 年度

4. 研究の趣旨・概要

2005 年に外来生物法が施行されて以降、約 100 種類の外来生物が特定外来生物に指定されてきたが、駆除に成功した特定外来生物は 1 種も存在しない。COP10 で議決された「愛知目標」の中にも、重要な外来生物の速やかな防除法の確立が盛り込まれており、世界に先駆けて成功事例を作り上げ、さらにその情報を国際発信することは、生物多様性国家戦略および国際貢献の観点からも、重要な課題と位置づけられる。

本課題では、早急な防除が認められるアルゼンチンアリやオオクチバス、マングースなどの外来生物について、国内外における防除に関する情報の整備と分析を行うとともに、新規防除手法の開発を行う。得られた情報をもとに、効率的な防除戦略を立案する。

5. 研究項目及び実施体制

- ①外来昆虫類の防除手法開発および外来生物防除ネットワークの構築（国立環境研究所）
- ②外来魚類の防除手法開発および防除体制強化（琵琶湖博物館）
- ③グリーンアノールの生物学的特性に基づく防除戦略開発（自然環境研究センター）
- ④マングース超低密度個体群の根絶技術開発（琉球大学）
- ⑤アライグマの効率的防除戦略開発（北海道大学）
- ⑥防除実践のためのモデル解析（横浜国立大学）

6. 研究のイメージ

D-1101「外来動物の根絶を目指した総合的防除手法の開発」

あと一步が欲しい特定外来生物(動物)の防除

